



ゴミの中にも宝あり
浜辺をのんびり歩いて
たから探し

KITEMITA vol.8

生産者さんに



返礼品：サンゴのランプ

作品作りについて、楽しそうにお話してくれた、平山京子さん。所狭しと並ぶ作品のおかげで、平山さんのおうちはちょっとした観光スポットとなっている。

Q1.作品を作り始めたきっかけを教えてください。

私は東京出身なのですが、両親が徳之島出身です。それをきっかけに、何度か遊びに来た際に、徳之島の海に魅かれて引っ越してきました。

海を散策すると、つつい海に落ちているものを拾ってしまいます。たくさん集まったのでこれらで何かできないかと思い、作品を作り始めました。もう20年以上、サンゴやシーグラスや流木などを集めていて、もう部屋に作品を置くところがなくなってしまいました！



明かりをともしたサンゴのランプ。

Q2 作品を作るときに、難しいことはありますか。

さあ、作ろうと思った時に、思うような色や形がなかなかそろわないことですかね。サンゴのランプを作るには、真っ白なサンゴを使いたいのので浜に打ちあがったばかりのものを集めますが、以前に比べて、打ちあがるサンゴの数が減ってきていると感じています。

徳之島はサンゴが隆起してできた島なので、まだ拾えますが、他の島では、サンゴはほとんど見られなくなってきているんじゃないかなあ。悲しいですね。



シーグラスフラワーも作っています。

Q3.今後、挑戦したいことはなんですか。

徳之島に来てから、芭蕉布を糸から作ってみたり、クバの葉でカゴを作ってみたり、大島紬にも挑戦しました。サンゴやシーグラスの作品もたくさんになってきたので、今度は新しく何を始めようか考え中です。

お金をかけずに楽しく過ごせる徳之島はとっても楽しいですよ。



平山さんの自宅は、これまでの作品がいっぱい。